

## 【概要】

# 平成 23 年度上半期 フラット 35 利用者調査

## I. 調査の概要

フラット35を利用された方の社会的属性、住宅の概要、資金調達内訳などに関して、金融機関から買取又は付保の申請があった債権で、平成 23 年 4 月 1 日から平成 23 年 9 月 30 日までに買取又は付保の承認を行ったもののうち 53,003 件(平成 22 年度上半期は 43,004 件)について集計

## II. 調査結果の主なポイント

### 1 30 歳代の構成比が上昇

30 歳代の構成比が上昇した。全体では 22 年度上半期の 49.3%から 23 年度上半期は 52.1%と 50%を上回った。特に土地付注文住宅では 22 年度上半期の 56.5%から 23 年度上半期は 58.9%へと約 6 割に達した。〈p1、p3〉

### 2 1 人世帯の構成比が低下（マンション）

1 人世帯の構成比は、マンション全体で 22 年度上半期の 26.2%から 23 年度上半期は 17.7%へと 20%を下回った。男性のうち 30 歳未満では 26.3%から 11.4%と低下が著しい。〈p1、p4、p5〉

### 3 中堅所得層の構成比が上昇

全体では世帯年収 400 万円未満の構成比が 22 年度上半期の 19.8%から 23 年度上半期は 17.6%へと低下している。特に、マンションでは、年収 400 万円未満の構成比が 13.7%から 9.2%へと 10%を下回っている。〈p2、p7〉

### 4 総返済負担率 25%以上の構成比が低下

注文住宅では総返済負担率 25%以上の構成比が 22 年度上半期の 33.6%から 23 年度上半期は 28.9%へと低下し、30%を下回った。中古マンションでも総返済負担率 25%以上の構成比が 26.0%から 23.7%へと低下し、その水準が一段と低くなった。〈p2、p16〉